

猪高の森自然観察だより 6月号

開催日時:2021年6月27日(日) 9:30~11:10 天候:曇り

テーマ:水辺の生き物探し

参加人数・構成:13名(うちNACS-J指導員3名)

コース:森の集会所 → オオシマザクラのある畑(通過) → 枕木道 → すり鉢池(解散)

梅雨真っただ中の観察会です。前日まで雷注意報が発令され、曇りと言っても、雨の降りそうな曇りでの開催でした。「水辺の生き物探し」のテーマでしたが、残念ながら、お子さんの参加がなく大人の方々に童心にかえていただくことになりました。

こんな観察会でした

今回は、「水辺の生き物探し」のテーマでしたので、目的地を「すり鉢池」にして、参加者の方々にタモ網を使って「ガサガサ」を行っていただく、普段とはちょっと変わった観察会でした。

すり鉢池は今年の11月に池干しが計画されている池です。現在、特定外来種のウシガエル、アメリカザリガニ、ブルーギルをそれまでに極力少数に抑えるべく罠を仕掛け、取り除くことをしています。特にアメリカザリガニは、夏に産卵期を迎えるので、それまでに数を減らす計画です。

罠の様子も紹介します。途中の道は、草木の様子や昆虫の色々を見ながらの道中となりました。

集会所の広場にて

赤いヤマモモの実が沢山落ちていました。食べられるのにちょっと勿体無い気がしました。ヤマモモは、普通は雄木と雌木が別なのでこれは貴重です。手の届く所には、実は残っていませんでした。(改良した種類には1本で実のなる品種があります。



ヤマモモの実

ナンテン(南天)の葉ってど〜れ ?

畑の入り口でナンテンとハマユウの花が咲いていました。白い花が梅雨時にすがすがしい感じです。そこで問題、「ナンテンの葉は？」答えは、中心の幹から生える、『3回3出羽状複葉』全体です。(難しい言葉です。心ある人は調べて下さい。)ちなみに、ナンテンの結実をよくするには開花時に雨に濡らさないように、透明の傘をさしてあげるとよいとか…。

香りを比べてみよう

途中、2種類の葉を名前を告げずにお渡しして、香りを比べてもらいました。2種類の葉とは、クサギとヘクソカズラです。人気があったのはクサギの香りで、嫌でない方も見えました。予想通りの結果で、ヘクソカズラは残念ながら、嫌がらない方は見えません。(それにしても

毎回考えるのはこの名前を命名した方のこと、2種ともきれいな花をさかせるのに・・・

すり鉢池までの道中では・・・

この時期は、春に比べて、咲いている花の種類は少ないですが、熟した実や大きくなりつつある木の実、沢山の虫たちが登場する時期になります。(以下の画像は下見の際に確認した種類も含んでいます。)



アジサイ
中心にあるのが本当の花



ヒメコウゾの実
食べられます



ミツバアケビの若い実
収穫の頃にはまず無い



クヌギハマルタマフシ
アベマキの葉にあってもこの名前。ややこしい！タマバチの仲間が作ります



ノイバラマルタマフシ
これもタマバチの仲間が作った虫こぶです



アオドウガネ
コガネムシの仲間です



セマダラコガネ
コガネムシは色々な仲間がいて楽しい！



ツチイナゴ
眼の下の筋が特徴です。成虫で冬越します



クサギカメムシ3令幼虫
カメムシの仲間は多くの種類がいます



ヤマイモハムシ
ハムシも多くの種類がいます



イチモンジカメノコハムシ
の幼虫
まるで怪獣のよう！



コフキゾウムシの交尾
とても綺麗な種類です



ナナフシモドキ
さて、どこいるでしょう？



カマキリの幼虫
だいぶ大きくなりました



アリグモの仲間
何か捕まえています



アラゲキクラゲ
おいしそう！



ムラサキニガナ
紫のかわいい花



ネジバナ
ランの仲間、草地でよくみ
ます

今回の大ハプニングはアオダイショウ！？

すり鉢池に到着。悪名高い(あなた達が悪い訳ではない、念のため..)外来種3人衆のアメリカザリガニ、ウシガエル、ブルーギルを除いた在来種がみつけれれば良いな、と思っていました。

罟を覗いてみると何か長いものが入っています。よく見るとヘビのアオダイショウ！参加者の方々の反応は様々、『全く平気な方(私もそのひとり)』『「わたし、長物はダメ!」と近づかない方』『興味はあるけどちょっとこわい方』などなど。

捕まえて「触ってみたい人どうぞっ!」で、初めて触った方もみえました。

ちなみに、全長約110cmの個体でした。勿論、リリースです。

在来種は他にミナミメダカとヌマエビのみ、外来種3人衆はしっかりおられました。同日の捕獲確認でドジョウが、また、この場所では7月1日に同じようにニホンマムシが捕まりました。私達が気付いていないだけで、意外と身近に住んでいるのかも知れません。

最後の振り返りでも、話題はアオダイショウのことばかり。捕まえ方とか、注意することとか、ほかのヘビの話まで出てきました。(他にはないのかよっ!)、そうそう、ヌマエビの話題が出ました。このすり鉢池ではヌマエビとスジエビが住み分けしているらしいとのこと。

そんなところで、今日の観察会は、すり鉢池で解散しました。



アオダイショウ



ドジョウ



ニホンマムシ

6月にはこんな自然とも出会えます

花の咲く植物

アレチハナガサ、ヤナギハナガサ、ヤブミョウガ、
ジャノヒゲ、カンゾウの仲間
シャシャンボ、クチナシ、イソノキ、ゴンズイ、アカメガシワ
など

実が育っている植物

コナラ・アラカシなどドングリの実る木々、カキ、ソヨゴ、キ
イチゴの仲間、エゴノキ、ムクノキなど

鳥の仲間

キジバト、ウグイス(声だけかも)、ヒヨドリ、キビタキ(声だけかも)、シジュウカラ、ツバメ、スズ

メ、ハシブトガラス、メジロなど

チョウの仲間

アオスジアゲハ、モンキアゲハ、ナミアゲハ、クロアゲハ、キタキチョウ、モンシロチョウ、ムラサキシジミ、ヒカゲチョウなど

その他イモムシ、ケムシ、甲虫、アリ、クモなどの節足動物、カタツムリなどいろいろ..

これから秋までの暖かい時期は生き物探しに困りません。

毎回、何か新しい発見とハプニングがあります。一緒に歩きませんか？

次回は 7月25日(日)

テーマ:セミとの出会いと昆虫たち

の予定です。

朝 9:30～ 森の集会所集合です。